

セーラーカラー・見返し仕立て 仕様書

- ▶縫い代は指定以外すべて10mmになっています。
- ▶縫い代はロックミシン、またはジグザグミシンで処理してください

- ① 見返し仕立てで使用する型紙、前見返し、前身頃貼り付け用を印刷し、前身頃に、前身頃貼り付け用を貼り付けて使用する



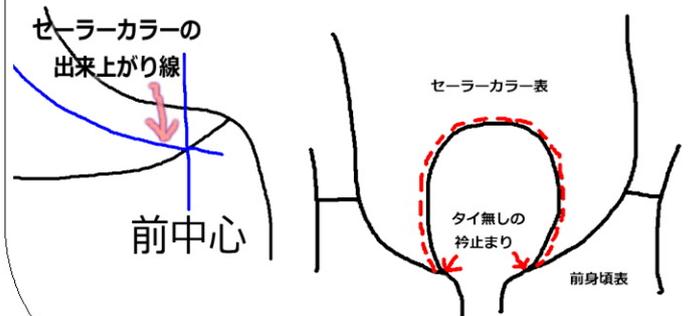
- ② 前見返しと後見返しを中表に合わせて、肩の部分を縫う。



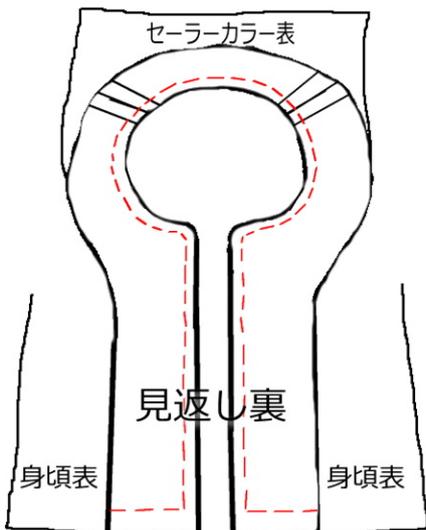
- ③ ②で縫った前後の見返しの肩ぬいしろを割って、アイロンをかけ、写真のように周りにロックミシンをかける



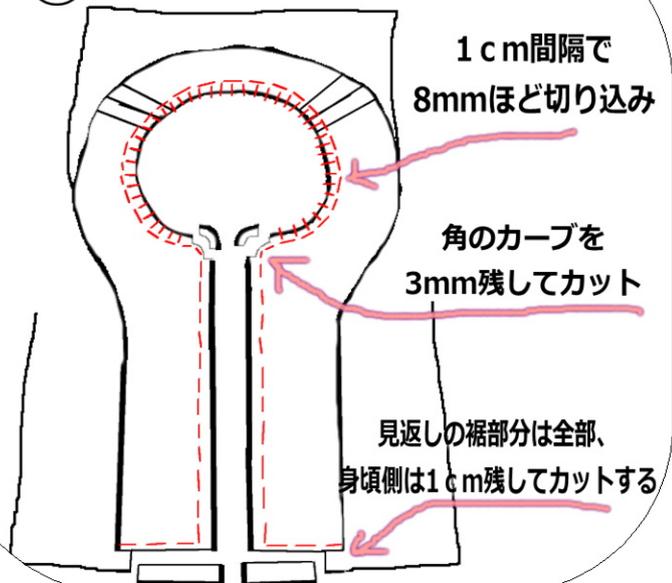
- ④ ①～③まで工程を進めて、身頃の襟回りに、セーラーカラーを重ねて、縫い代内で仮止め
通常仕様書②を参考に、前中心と、セーラーカラーの出来上がり線同士が交差するように止める。



- ⑤ ④で縫った衿に、③で縫った見返しを、合印に合わせて重ね、縫う。



- ⑥ 図のように縫い代に切り込みを入れる。



セーラーカラー見返し仕立て 仕様書

▶縫い代は指定以外すべて10mmになっています。

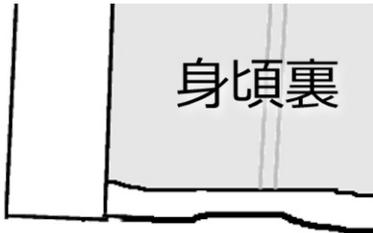
▶縫い代はロックミシン、またはジグザグミシンで処理してください

⑦

裾は3つ折りして
アイロンをかけておく



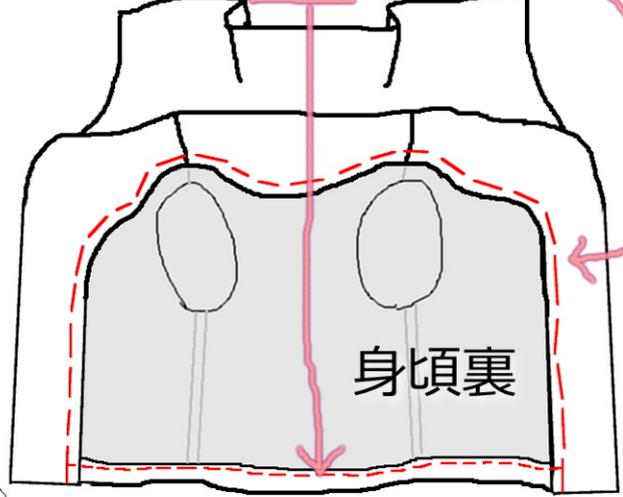
↑裾は三つ折りして



↑見返しを上から重ねる

⑧

⑥を表に返してアイロンをかけ、
見返しを身頃に縫い留める。
裾は3つ折りにして縫う。



↑裾は見返しの縫い目が縫い止まり

⑨

ボタン付け位置に
ボタンを付けて完成！



⑩

身頃をニット生地で製作するとき
身頃の袖ぐりと脇を7mmの縫い代に変更し、
縫う時はロックミシンで縫う。



青いラインで記した場所を縫い代7mmに変更

⑪

接着芯を付ける

ニット生地だと伸びてしまう部分の生地裏に、

1cm幅の接着芯

接着芯を貼る。



赤いラインで記した場所に接着芯を貼る

⑫

裾は空ロックして2つ折りして縫う。

縫い方は⑦、⑧同様

